

講座内容
(テーマ)

思いやりを大切に

ホスピタル・クラウンの大棟耕介氏に「思いやりの心を大切に」の演題で講演をしていただきました。感染症対策として、体育館や特別教室等、5会場をオンラインでつないで実施しました。

詳細

講演はピエロに扮したホスピタルクラウンの大棟氏が、ステージ上でパフォーマンスを行い楽しませました。拍手やボールのジャグリングを行い、技術の高さとともに笑わせるテクニックを披露。その後「ホスピタルクラウン」の活動をDVDで紹介しながら、「もし僕が小学生になることができたなら伝えたいこと」として、「1 友達を大事にする。(同じ小学校を卒業すると、後に助け合いができる)2 今日という日を大切に。今日やることは今日やる。3 挑戦してください。歩けるということに至る力がある。4 どんなことに対しても全力で頑張る。」ことを子どもたちに話されました。

子どもたちは、一流のパフォーマンスを楽しんだり、病院での話に感動したりしていました。

様子



体育館での様子(4~6年生が参加)



教室での様子(1年生)



講演後半の様子



図書室での様子(家庭教育学級)

<家庭教育学級参加者の感想>

- ・改めて普段当たり前のようになっているが、大切なことだと感じ、誰かのために生きるということを認識しました。
- ・自分を変えたかった。みんなが喜んでくれる。そのことを大事にして、自分のことを話せる、全力で頑張っている大人がいると感じました。
- ・いいお話でした。熱いお話で、子どもに響いていると感じました。

<6年生児童の感想>

私は、大棟耕介さんの話を聞いて、ホスピタルクラウンという仕事は、病院訪問をしたり、被災地や、戦争があった地域など海外にも行って、そこで、人を楽しませたり、元気のない人にも、笑わせたりしていて、とてもすてきな仕事だなと思いました。それに、大棟耕介さんの、夢のかなえ方の、友達を大切に、1日を大切に、色んな事に取り組む、という事を聞いて、私も夢をかなえるために、この4つを守っていこうと思ったし、人前で話すことが苦手だった自分を変えるためにホスピタルクラウンという仕事を選んで、ちゃんと成功していてすごいと思います。今、思っていることをちゃんと伝えないと伝わらないから、やりたい事、夢、目標を、どんどん伝えられる人になりたい。また、人が生まれてくるということは、「きせき」という言葉だけでは表せないという事を聞いたので、友達、お父さん、お母さん、兄弟、親せきも、大切にしないといけないなと思ったし、毎日感謝して、後悔のないように生きたいと思いました。